

Yamaka Topics ヤマカトピックス

生鮮ノドグロ輸入量半減



例年、日本側の休漁期の5月～7月に合わせて、韓国産生鮮ノドグロが漁獲されています。それらは韓国・釜山～下関間を毎日運航する鮮魚運搬船によって輸入され、“ノドグロ人気”を支える大きな供給源になっています。本年の輸入量はコロナ禍の影響で昨年の実績を大きく下回り、半減したそうです。7月には若干回復したものの、第2波でなかなか物量が増えません。年間の輸入量は昨年実績をかなり下回ると予想されています。

完全養殖マグロの卵、大きな進歩



この度、水産研究・教育機構はマグロの飼育環境を制御することによって、従来よりも早い時期（3月）に採卵することによって世界で初めて成功しました。採卵時期をコントロールすることによって生存率が向上する可能性があります。従来のマグロ養殖は日本近海で漁獲される幼魚を肥育させることで成り立っていましたが、完全養殖技術が確立してからは卵をどう確保し育てるかが課題となっています。通常、養殖マグロが生簀内で産卵する6、7月が卵の採取のタイミングですが、サイズが小さく、水温の変化で生存率が著しく低下していました。完全養殖の生産性向上に期待です。

入荷状況



底引き網漁、最新情報

例年、9月1日（火）より底引き漁が解禁となりますが今年は台風の接近が懸念されることから、初荷のタイミングがずれる可能性があります。弊社も3日（木）の販売に変更しました。また、コロナ禍の影響で商品のダブつきもあることから出漁調整も考えられます。微妙なシーズンスタートとなりそうです。

●底引き網漁の解禁で魚種も増えてきます。甘エビ、ガスエビ、シマエビといったエビ類、毛ガニ、カレイ類、メギス、ミズウオなど（写真は上から、赤カレイ、ガスエビ、メギス、ミズウオ）。



9月の主な魚種	
甘エビ	◎
シマエビ	
ガスエビ	◎
赤カレイ	◎
ササカレイ	
ハチメ	
メギス	◎
ミズウオ	◎
ハタハタ	

●商品価格等は各担当者にお問い合わせください。